

機械器具 (6) 呼吸補助器
管理医療機器 ベンチュリマスク 35175000

再使用禁止

O2Star ベンチュリマスク

【禁忌・禁止】

使用方法

1. 再使用禁止
2. 酸素吸入時は火気厳禁。[火災の危険。]

適用対象(患者)

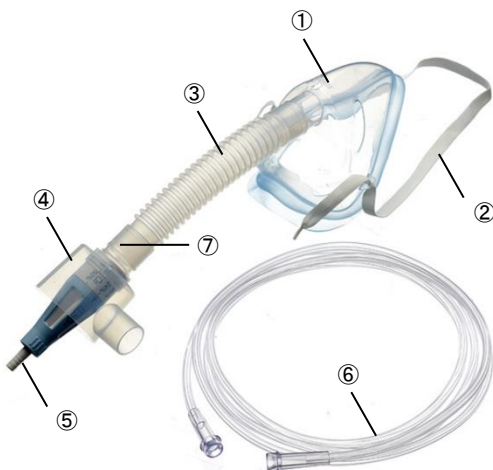
1. 自発呼吸のない患者に使用禁止。
[低酸素症の恐れがある。]

*【形状・構造及び原理等】

1. 外観

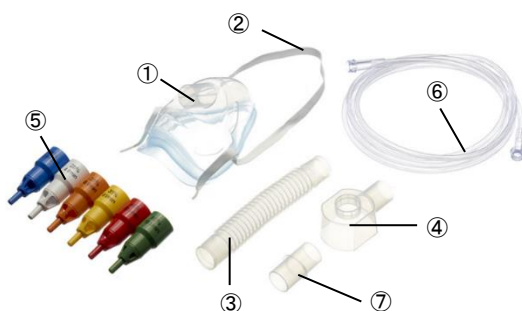
次の 2 種類がある。

(1) 調節式ベンチュリ弁付きマスク



サイズ : S, M/L

(2) 固定式ベンチュリ弁付きマスク



サイズ : S, M/L

番号	各部の名称	番号	各部の名称
①	マスクシェル及びマスククッション	⑤	ベンチュリ弁(固定式/調節式)
②	ストラップ	⑥	酸素チューブ
③	吸入ホース	⑦	コネクタ
④	加湿キャップ		

2. 原理

酸素チューブから供給される酸素は、細径に絞り込まれたベンチュリ弁にて、陰圧となって周辺の空気を巻き込むベンチュリ効果によって、酸素流量に依存した吸入酸素濃度が供給される。

3. 原材料

番号	各部の名称	原材料
①	マスクシェル及びマスククッション	ポリプロピレン スチレン系エラストマー
②	ストラップ	ポリアミド及びポリウレタン
③	吸入ホース	エチレン酢酸ビニル共重合体 又はポリプロピレン
④	加湿キャップ	ポリプロピレン
⑤	ベンチュリ弁(固定式/調節式)	ABS 樹脂
⑥	酸素チューブ	ポリ塩化ビニル
⑦	コネクタ	ポリプロピレン

【使用目的又は効果】

患者の気道に空気・酸素ガスを供給するために用いる。

【使用方法等】

1. 医師の指示に従い、適切なベンチュリ弁を選択する。
2. 調節式ベンチュリ弁付きマスクの場合は、ベンチュリ弁を回転して目的の酸素濃度に設定する。
3. 固定式ベンチュリ弁付きマスクの場合は、目的の酸素濃度のベンチュリ弁を取り付ける。
4. 調節式/固定式ベンチュリ弁を、マスクシェル又は吸入ホースのコネクタに接続する。
5. 酸素供給源の径を確認し、酸素接続チューブを接続する。
6. 加湿が必要な場合は、加湿キャップのコネクタにネブライザ等の加湿源を接続する。
7. 酸素を供給し、マスクから酸素が出ていることを確認する。
各部から漏れが無いことを確認する。
8. 患者の顔にマスクを装着し、ストラップの長さを調整して固定する。
9. 下記の酸素濃度を参考に、酸素流量を調整する。

(1)調節式ベンチュリ弁付きマスク

酸素濃度規格値(%)	酸素流量(L/min)
23~25	3
25~27	3
27~29	6
29~33	9
32~38	9
34~46	12
44~56	15

(2)固定式ベンチュリ弁付きマスク

ベンチュリ弁 色	酸素濃度規格値(%)	酸素流量(L/分)
青	24±1	2
白	28±1	4
橙	31±1	6
黄	35±2	8
赤	40±2	10
緑	60±4	15

*【使用上の注意】

重要な基本的注意

1. 使用前に周辺機器と確実に接続する。
2. 酸素接続チューブをルアーロックコネクタに接続しないこと。
酸素接続チューブは、本品を酸素供給源に接続する場合にのみ使用する。[ガス漏れ、低酸素症の恐れ。]
3. ストラップを強く引きすぎると、皮膚が炎症を起こす可能性がある。

*【保管方法及び有効期間等】

有効期間

包装上のラベルの使用期限を参照

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者： ドレーゲルジャパン株式会社

住所： 東京都品川区上大崎 2-13-17 目黒東急ビル

電話番号： 03-6447-7200

設計を行う

外国製造業者： ドレーゲルベルク社

Drägerwerk AG & Co. KGaA (Moislinger)

製造国： ドイツ連邦共和国